

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【公開番号】特開2015-226464(P2015-226464A)

【公開日】平成27年12月14日(2015.12.14)

【年通号数】公開・登録公報2015-078

【出願番号】特願2015-104683(P2015-104683)

【国際特許分類】

H 0 2 K 15/04 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 15/04 E

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月21日(2018.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コイルのティップが直立するように前記コイルがマウンティングされるパレット部と、長さ方向に長く形成される移送ベルトを備える移送部及び、前記移送部の側面に位置し、剥離作業地点においてレーザーを照射して前記コイルのティップのコーティング層を剥離するレーザー照射部を備え、前記パレット部は、前記移送ベルト上に積まれて運搬され、前記パレット部は、回転可能に形成され、前記コイルのティップの長さ方向と前記パレット部の回転軸方向は平行であるモーターのコイル剥離装置。

【請求項 2】

前記移送部の側面に位置し、前記移送部に向かって移動可能に形成されて前記コイルのティップを固定するクランプをさらに備えることを特徴とする、請求項 1 に記載のモーターのコイル剥離装置。

【請求項 3】

前記コイルのティップが、前記剥離作業地点に位置するように前記移送部の動きを制御する制御部をさらに備えることを特徴とする、請求項 1 に記載のモーターのコイル剥離装置。

【請求項 4】

前記制御部は、入力信号に対応して、前記パレット部の回転を制御することを特徴とする、請求項 3 に記載のモーターのコイル剥離装置。

【請求項 5】

前記レーザー照射部は、前記剥離作業地点を中心として回動可能に形成されることを特徴とする、請求項 3 に記載のモーターのコイル剥離装置。

【請求項 6】

前記レーザー照射部は、上下移動可能に形成されることを特徴とする、請求項 5 に記載のモーターのコイル剥離装置。

【請求項 7】

前記制御部は、入力信号に対応して前記レーザー照射部の回動または上下移動を制御することを特徴とする、請求項 6 に記載のモーターのコイル剥離装置。

【請求項 8】

- a) コイルをパレット部にマウンティングする段階と、
- b) 前記パレット部を剥離作業地点まで移送させる段階と、
- c) 前記剥離作業地点で前記コイルのティップを固定する段階及び、
- d) レーザーを照射して前記コイルのティップのコーティング層を剥離する段階と、
を含むモーターのコイル剥離方法。

【請求項 9】

前記 d) 段階において、円周方向を基準として前記コイルのティップの一部領域に該当するコーティング層を剥離することを特徴とする、請求項 8 に記載のモーターのコイル剥離方法。

【請求項 10】

前記 d) 段階において、前記剥離作業地点で前記パレット部を回転させることを特徴とする、請求項 9 に記載のモーターのコイル剥離方法。

【請求項 11】

前記 d) 段階において、前記剥離作業地点を中心として前記レーザー部を回転または上下移動させることを特徴とする、請求項 9 に記載のモーターのコイル剥離方法。